

(市長と語る会資料)

平成27年11月18日

氷見市長 本川祐治郎 様

要 望 書

藪田地区自治会

区長 矢代政則

小杉地区自治会

区長代行 大石泰浩

泊地区自治会

区長 高野博隆

当地区の振興発展及び生活安全に係る下記の事業の推進について、次のとおり要望いたします。本件につきましては国事業でありますので、氷見市より国に対して整備促進の要望を積極的に行っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

要望事項

国道160号（藪田児童公園～脇方橋間）の改修

1. 要望理由と現状

関係機関のご尽力等により能越自動車道が灘浦インターチェンジまで開通しましたが、小杉、泊地区住民にとって、国道160号が唯一の生活道路であることに変わりありません。かねてより、藪田3地区自治会（藪田、小杉、泊）は地区の安全、安心を第一に考え、住民の命と暮らしを守るとともにより良い地域社会をつくるため、国道160号の道幅の拡幅とトンネルの拡幅、歩道の整備等を強く要望して参りました。現在、部分的な整備はしていただいておりますが、急カーブ箇所をはじめ、まだまだ、危険箇所が残っております。

要望区間では、過去に死亡事故や人身、物損事故が数多く発生し、住民は常に身の危険を感じながら、不安な日々を送っております。能越自動車道の開通により交通量が減少すれば、運転手の心理として速度を上げがちになり、更に危険度が増すことも予想されます。

地区住民の生活道路として、利便性と安全性をしっかりと確保されるよう、国道160号要望区間の根本的な対策をお願いするものです。

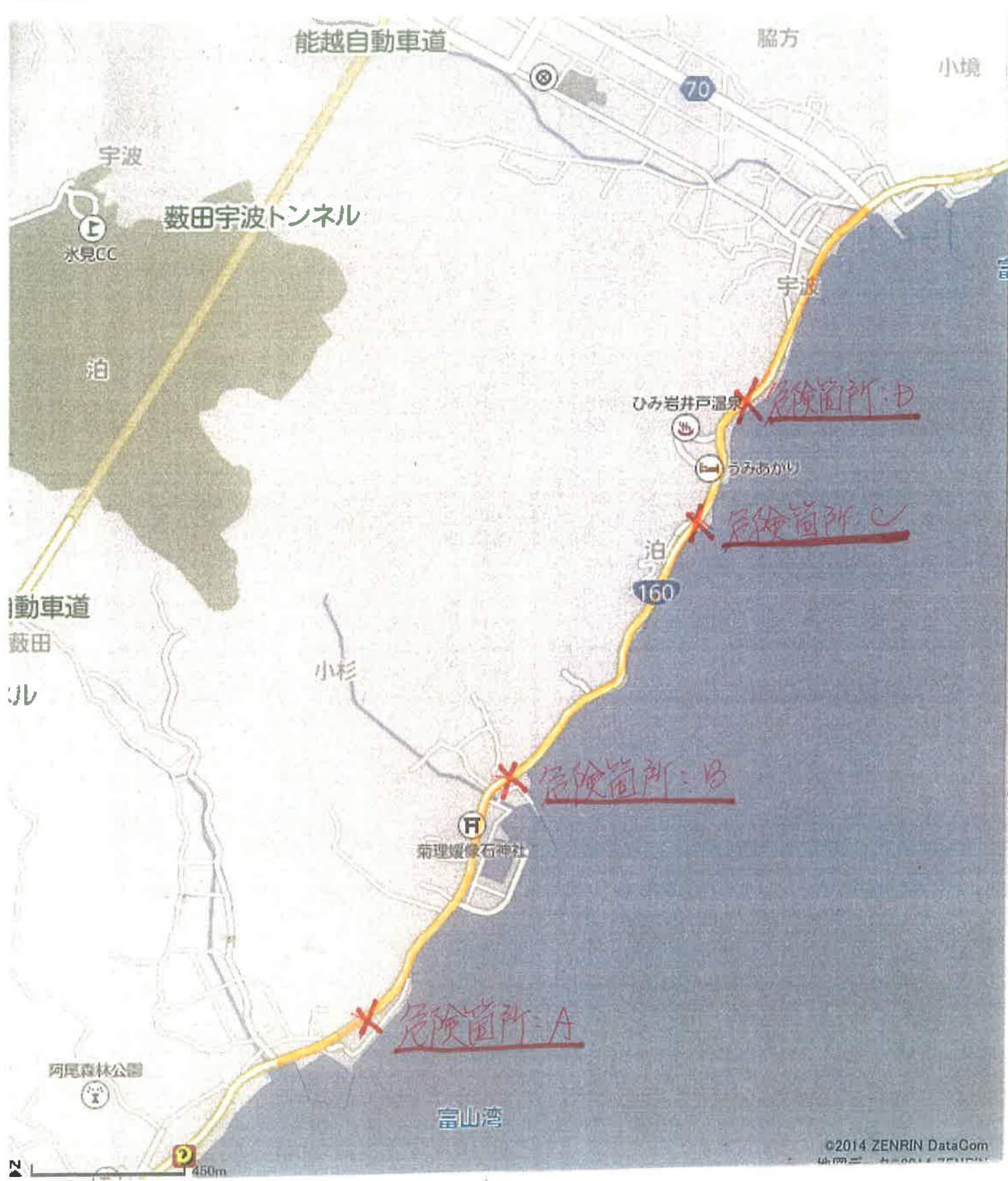
2. 具体的な要望事項

要望区間の中で最も危険度が高い場所は、泊地内の急カーブ箇所です。ここには民家等の建物が道路沿いに迫っていることから、見通しが悪く、自動車や自転車の走行や人の歩行にも危険な箇所です。更に、道路幅が狭く、歩道が無い箇所もあって、歩行者の横断にも常に事故の危険が伴っています。

地区住民の命と暮らしを守るため、急カーブの解消、見通しの確保に早急に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

なお、要望区間には同様の危険箇所が幾つも存在しますので、要望区間全体の危険度を調査され、危険度の高い順に改修をお願いします。

- *添付資料 1.危険箇所(4ヶ所)の明示と要望区間を示す地図
- 2.危険箇所の現場写真(①～④)



危険箇所: A

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線 (藪田トンネル入口)



② 国道 160 号線 (藪田トンネル→旧藪田小)



危険箇所：B

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（泊地内：里木酒店前）



② 国道 160 号線（泊地内：里木昭男宅付近）



危険箇所：C

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（泊地内：神明社前）



② 国道 160 号線（宇波地内：一石山付近）



危険箇所：①

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（宇波地内：うみあかり前）



② 国道 160 号線（宇波地内）



(市長と語る会資料)

平成27年11月18日

氷見市長 本川祐治郎 様

要 望 書

藪田地区自治会

区長 矢代政則

1. 垂姫橋の架け替えについて

*2月の地区トークでは、「この後4回ほど協議しましょう」となっていた。

・・・市長の回答は？

2. 垂姫川の改修について

1) 矢代氏納屋付近の市道川べりの崩落

2) 垂姫川より、田んぼへの川水流入（市道の下をくぐり）

3. 小学校跡地の地元への還元？

以上、藪田の分です。宜しくお願いします。

(市長と語る会資料)

平成27年11月18日

氷見市長 本川祐治郎 様

要 望 書

小杉自治振興会

時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素より、当地区の発展に深いご理解と格別の御配意を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当地区内は、海岸部まで伸びた2つの高い尾根によって集落は3つの小さな谷に分断され、灘浦地域の漁村特有の家並みの構成から、地域内の市道は殆どが3m程度と狭く、緊急車輛の通行にも支障があるほか、積雪時には道路側溝等へ脱輪する車輛もでるなど通行する歩行者や自動車が危険を感じる個所が多くあります。

また、地下流水による陥没や急傾斜地の対策への不安や排水路や外灯の改善も望んでおります。

市当局におかれましては、厳しい財政環境のこととは存じますが、一日も早い原因の解消に向けて、対応を頂きますよう要望いたします。

1、急傾斜地崩壊対策関連事業について

- ① 市道を挟む住宅地向側の崖斜面が少しずつ崩れています。以前にも落石があり道路まで出たこともあり、近隣住民は道路や住宅への落石被害を心配しています。しかし、道路を挟んでいるためか、急傾斜地としての危険エリアになっていないためこのまま対策が行われず取り残されると危惧しています。(写真1)
- ② 急傾斜地崩壊対策工事が終わった崖の上に転落防止のガードパイプが設置されていますが、設置後、相当の年月が経過し、腐食、劣化によりパイプが朽ち落ちて、その効力が全く失われています。ガードパイプ沿いには墓地が並んでおり、墓参りの際など危険な状態となっています。(写真2)
- ③ 施工済み区域内(法枠内)に雑木が茂り、非常に大きくなって場所があり、直下の家では、台風の日など雑木が倒木、転落してくるのではないかと不安に思っています。(写真3)

※ その他にも、排水路の破損など様々な問題があります。急傾斜対策は県事業ですが、市としても実態の確認と対応について御検討をお願いします。

(写真1)



(写真2)



(写真3)



2、地下水による地盤沈下問題等について

地区内全域で、側溝等を流れる水の量が少なくなっており、山水が地下を潜って流れていると思われる。以前にも市道の道路面沈下が激しく亀裂から水が湧き出し改修を行った。特に瀬間田川に隣接する住宅では家の前が突然陥没し穴があくなど、日々不安を感じ生活しています。実態の調査と対応をお願いします。(写真4)

(写真4)



3、道路の改修について

① 舗装補修（剝離、亀裂、傾斜等）について

舗装面に剝離や亀裂が生じ、そこから穴が広がっています。また市道藪の腰線の、大石宗雄宅裏側（L=12m、W=2.4m）は度重なる舗装補修で路面が片側に極端に傾斜が極端に強く（道路側溝に向かって、50cmで10cm下がっている）、降雪時には側溝側の雪が溶け易いことから、さらに傾斜が強くなり、道路の勾配とあいまって車が側溝へ落ちる事故が多発しています。

路面の補修と併せて道路側溝の整備することで、道路の有効幅員も広くなるため、両面での改修をお願いいたします。（写真5・6）

② 迂回路の整備（舗装）について

地域内の道路が狭いため、緊急車両が集落の奥まで入ること出来ず、救急時は担架等で急病人の搬送をしており、火災発生時の消火活動も同様の事態が発生する心配しています。

当地区は3つの小さい谷で分断されていますが、集落奥側を繋ぐ市道があります。現在は未舗装で轍も深くなっていることから緊急車両の通行は難しい状況となっていることから、この道路を迂回路として活用できるよう舗装整備をお願いいたします。（写真7）

（写真5）



（写真6）



(写真7)



4、地域防災について

当地区は、海に面しており避難所である自治会館は津波災害時は真っ先に被災してしまいます。

住民は津波発生時に集落後方の山地に避難することになりますが、経路の市道には外灯もありません。また、先にお願ひした迂回路は避難道路でもあります但未舗装の状況です。(写真8)

津波発生時の避難対策として避難路の整備と避難後に必要となる資機材の保管庫等の整備について御検討をお願いいたします。

(写真8)



5、排水路等の改修について

市道藪の腰線の集落奥(廣瀬達夫宅奥側)から流出する山水に対する水路が未整備となっており、その下流の用水に全く流入していません。そのため、山水は地下浸透し横に埋設されている下水道管に沿って流れ道路下の空洞化が危惧されます。(写真9)

また大石泰浩宅前から浜野愛宅への横断排水路(L=5.0m. W=35cm)も傷みが著しく、コンクリート蓋も、ひび割れており清掃も出来ない状態となっています。(写真10)

(写真 9)



(写真 10)



6、防火水槽（自然水利用）の改修について

廣瀬達夫宅奥側にある、消火用の自然水を貯水するため、山の斜面下にある溜め池を防火水槽として地元消防団が管理し、定期的に清掃及び放出試験を行っています。しかし、今年になり、水が放出できなくなり、放出管の劣化等による潰れ等が原因ではないかと考え、憂慮しています。

また、溜め池本体を包む岩盤の一部が崩落し、穴が開いています。水深は、1 m 4 0 c mもあり、崩壊すれば大量の水が市道を経て下流の住宅地に流れ出すことや人の転落も心配されます。(写真 11・12)

(写真 11)



(写真 12)



6、外灯（道路灯）について

梨木巖宅横に設置されている外灯（道路照明）は、急傾斜対策工事を行った擁壁の上であり、道路上に灯具が伸びていないことや擁壁内の雑草等により、外灯自体どこにあるのかも判らないほどで、照明効果が殆どありません。現地を御確認いただき、改善を御検討ください。

(写真 13)



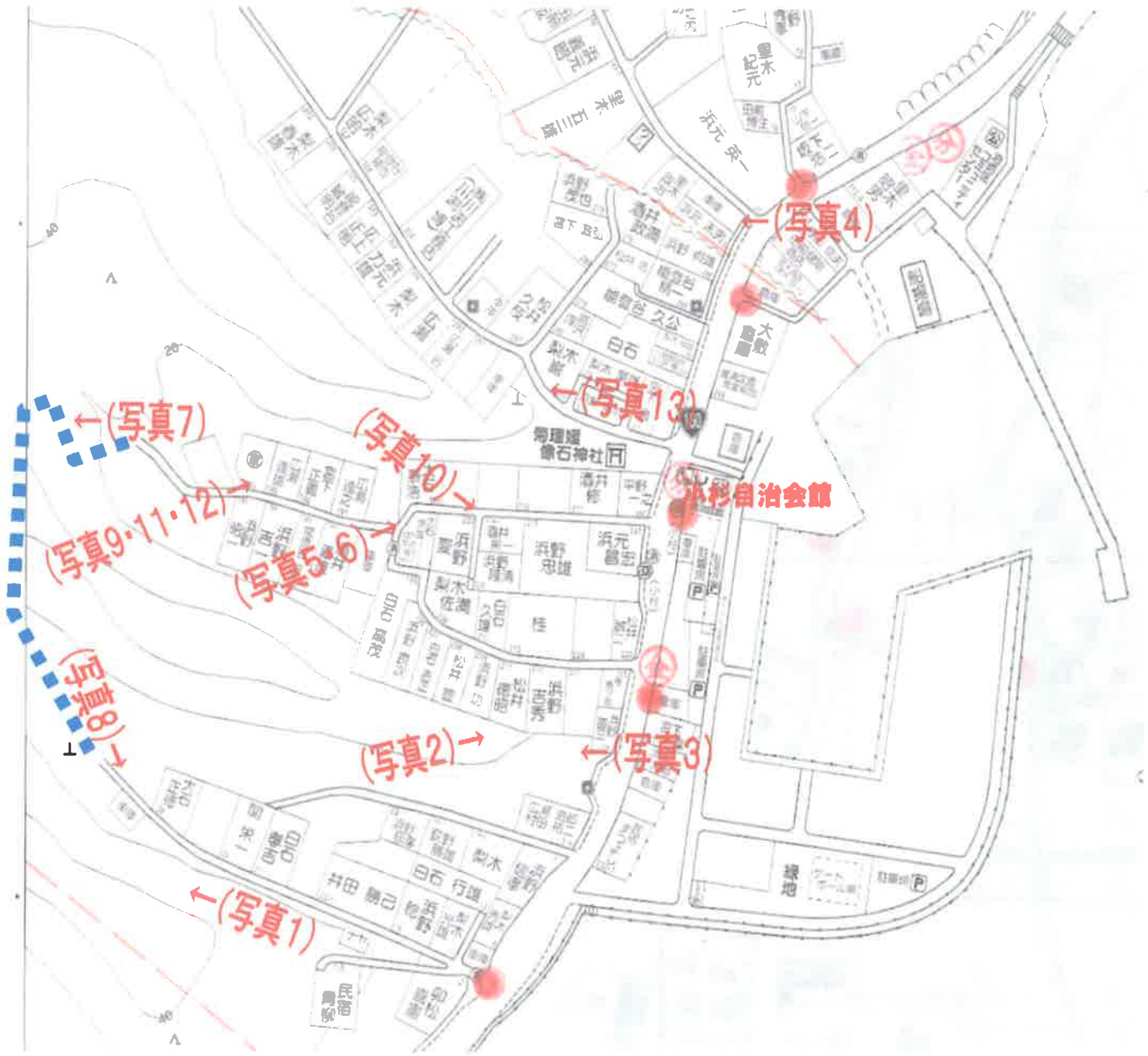
7、自治会館改修助成について

小杉自治会館は、集会施設が必要であったことから、消防分団の詰所と倉庫も兼ね、数十年前に地元で建築したのですが、経年劣化による傷みが激しく、玄関ポーチの屋根部分が台風ではぐられ、雨水の浸入し改修をしなければならぬ状態になっています。

また、館内のトイレは、水洗にはなっていますが、男女共用で、かつ和式便器となっています。現在は、洋式便器が主流で、特に高齢者の利用が多いことから、トイレの改修は必要と考えており、これらの改修に対する助成をお願いいたします。

地域へ助成制度や支援制度についても、地域の実態（世帯数が少ないと1住民単位の負担は多くなり、小規模の地区では補助の活用も難しい。）や事業内容等を鑑み、状況にあった制度への見直しも併せて御検討ください。

小杉地区要望箇所図



(市長と語る会資料)

平成 27 年 11 月 18 日

氷見市長 本川祐治郎 様

要 望 書

泊地区自治会

区長 高野博隆

泊地区の安全、安心を第一に考え、住民の命とくらしを守るとともにより良い地域社会をつくるために、係る下記3件の「要望事項」に対して強く要望をいたします。氷見市役所内各関係部署でご検討していただきたく、よろしくお願いいたします。

要望事項1.

「国道160号線沿いに消火栓の増設」について

1. 現状の「消火栓設置箇所」及び必要性、重要性について

現在、泊地区内の国道160号線沿いには、消火栓が2ヶ所（坂下宅前付近と北泊バス停付近）に設置されています。しかし、この2ヶ所間の距離が約1kmと長く、去る10月に発生した真常寺様の火災発生時には両方からの距離の関係で消火作業にてこずるという事態となってしまいました。

具体的には、消火栓から離れているために、ホースが長すぎて、途中でポンプアップして対処しました。このため、山林火災に対する対応が遅れ、火の手が一部山林にまで燃え広がり、また、隣家に飛び火(火の粉が飛んできた)する事態にまでなりました。山林火災になると思うと、更に、被害が拡大されることになり、地区住民としては恐怖や不安などで、生きた心地がなくなってしまいます。

2. 具体的な要望事項

真常寺様近辺には民家や民宿があることから、万が一の対応として、国道160号線沿いの、この近辺に消火栓の増設を要望いたします。早急に、各関係部署でご検討していただきたく、設置に当たってのご支援をお願いいたします。

尚、火災の拡大を阻止し、山林火災を阻止するために、付け加えて、北泊地内で、海水を使った消火活動が出来る体制の整備もお願いしたいと思います。(宇波地区内には、消火用水が不足した場合には、海水の取入れが出来る様になっているとのことです。)現在、北泊地内では、国道160号線の歩道拡幅工事が進められていますが、この工事の中で、海水取入れ口の設置を追加出来ないものでしょうか？

「国道160号線沿いへの消火栓の増設」と併せて、「消火活動用海水取水口の新設」について、ご検討していただきたく、よろしくお願いいたします。

要望事項 2.

「空き家対策の実施」について

1. 現在の「空き家」の状況、及び対策の必要性について

去る1月の中旬に、泊地区で、県内のマスコミ各社にも取上げられた女性2人の死亡事故がありました。NHKなどの報道では、類似の事故は全国でも発生しているようです。11月の中頃にも東京の都営アパートで高齢者2人が、死後1ヶ月以上経ってから発見されたというニュースが全国を駆け巡ったばかりです。

泊地区の案件では、氷見警察署の調べでは事件性は無いということで一件落着となっていますが、2人が住んでいた住居等は、親族が相続などを放棄したということで、現在も当時のまま放置された状態となっています。

しかし、このような形で、いつまでも放置された状態では、地域にとっては負の遺産になってしまうだけです。また、年月が経過すれば、害虫や害獣の住みかになり得ますし、火災などの心配なども懸念されます。

2. 具体的な要望事項

市役所としても、いつまでも放置したままにしておくのではなく、地域にとって最適なアウトプットを導き出して貰いたい。

要望事項3.

「瀬間田地区内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修」について

1. 現状の「市道」の状況、及び対策の必要性について

同地区内の市道は幅が狭く、また、急カーブ箇所も多いため、一般車両はもとより、救急車や消防車が地区内に入るにも大変な支障が生じております。

半年ほど前にも、急病人が出て、救急車を呼んだものの、これらの急カーブ箇所を曲がりきれず、時間を掛けて前進/後進を繰り返し、辛うじて急病人宅前にたどり着くという状況でした。しかも、国道に出る先には急カーブ箇所があって、先に進めないため、今来た道を時間を掛けて、また、戻っていくという状況でした。

地区内のメインとなる市道は、イザという時には、救急車や消防車が前進のまま、一回りして、国道に到達できるようにしないと、緊急性を要する事案に対して、手遅れとなることとなります。また、次世代を担う若者達にとっても住みよい、利便性の高い地域としていくためにも市道の改修は重要です。

2. 具体的な要望事項

瀬間田地区内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修をしていただき、地域内住民が安心して暮らし、利便性の良い地区へ脱皮させて貰いたい。

以上

2. 位置図

